

第2回 八木中学校区 学校運営協議会 記録

令和5年10月11日(火)

会長挨拶

気が付いたこと等アンケートへの記入をお願いします。

学校と協力しながら、どのようなことができるのか考えていきたい。

(山本校長)

協議について

主題・提案

子どもが求められている力・我々が願う力・学校の課題を共有させていただきたい

八木南小運動会・・・平日開催(給食あり)

コロナを経てどのように行事を行っていけばいいか模索しているところ。たくさんの方に子どもたちの頑張りを見てもらいたい。

昨年度のうちに本年度計画を立てるため本年度も平日開催となりました。年間計画にも載せたので、多くの保護者の方に来校していただきました。行事やその準備を通じて、心身の安全、学年ごとの役割を育てている。その一方で、ライフワークバランスや働き方改革を図ることも求められている。学校だけでなく、地域とともに子どもたちを育てたい。

(久保田会長)

コロナのため、できないこともたくさんあり行事の見直しが必要になった。すべてを元に戻すのではなく働き方改革により、子どもに向き合う時間の確保をし、地域で何ができるか、求められていることは何か考えていきたい。すでに様々なボランティア(ミシン・算数・読み聞かせなど)をさせていただいている。

地域の協力を得ることで、教員が楽をするのではなく働き方改革に取り組める案があれば、今できなくともいずれ実現できることもあるのではないかな。

(宇佐美さん)

学校について知る機会として・・・学校だより「大樹」

→もう少し見やすいといいのでは

(山口校長) 長崎小では校長の欄を従来の半分にして他の記事をふやした。

→地域からの意見を頂き地域と学校で作る学校だより

(小野寺さん)

コロナ禍で何もできなかった。これからどんなことを課題とするのか。

→考え方を改めてやっていくのはその通り

日本が国際社会から取り残されている。アジア社会で日本の立場の低下が著しい。新しい考え方を取り入れなければならない。具体的に何かということはないが、考えていかなければならない

(久保田会長)

今できなくとも、地域からアイデアを頂きたい

(山口校長)

資料が出ているが、地域の方は資料を見る機会が少ない。資料についてわからないことがあれば遠慮なく質問してください。学校が提示したことについて、協議会の中で質問や意見を頂けると助かります。

(坂本さん)

- ・様々な意見が火種にならないように吉川教頭には報告している。
- ・クレームが独り歩きしないようにしている。
- ・何が先生方に必要な支援か考える。現在、集金の手伝いやPTAバザー、キッカーなどのイベントを企画している。・・・地域とPTA・学校のつながりにより、子どもの笑顔を増やしていきみんなが楽しく一緒に活動できるようにしたい。
- ・保護者の意見を聞いて学校に伝える
- ・新しい先生が頑張っていることを伝えていく

(宇佐美さん)

会議の内容は地域に発信されるのですか

(山口校長)

法律で義務づけられているわけではない

こういうことが話題になりましたということを学校だより、運営委員会だよりなどで発信→地域の方からどのような内容が理解しやすいのか、こういう紙面にしてほしいなどの意見を頂きたい。

運営委員会だより・・・作成者の多忙化につながる。

何が必要なのか考えていくことが必要では

(金山さん)

学校では基礎をしっかりと。その上で、子どもたちが大人になったときに世界を見据えた目標を持ち、将来の展望が見えてくるように導いてほしい。

(久保田会長)

資料を見ていただいて、わからなかったことや書いてあることでわからないことは次回に質問やご意見をお願いします。